



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ  
 コード番号 3774 URL <https://www.ij.ad.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝 栄二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	50,379	1.1	2,047	48.2	1,694	23.8	1,122	35.9	1,116	43.8	2,261	63.3
2020年3月期第1四半期	49,829	11.1	1,381	2.2	1,369	△3.9	826	△9.7	777	△11.1	1,385	284.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	24.76	24.64
2020年3月期第1四半期	17.23	17.15

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	205,349	81,668	80,737	39.3
2020年3月期	206,524	80,057	79,076	38.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.7	8,700	5.8	8,000	11.7	5,000	24.8	110.90

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2021年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期 1Q	46,734,600株	2020年3月期	46,734,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期 1Q	1,650,950株	2020年3月期	1,650,950株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期 1Q	45,083,650株	2020年3月期 1Q	45,070,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2020年8月7日(金)に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 7
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 8
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 8
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)	P. 9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)	P. 11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)	P. 13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)	P. 15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)	P. 17
(継続企業の前提に関する注記)	P. 17
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 17
(セグメント情報)	P. 17
(重要な後発事象)	P. 17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当四半期(2021年3月期第1四半期)の連結業績の概況

当四半期における国内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況となりました。先行きについては、経済活動レベルの順次引き上げのなか各種政策の効果もあり、持ち直しに向かうことが期待されますが、国内外の感染症動向や金融資本市場の変動等を注視する必要があります、予断を許しません。

そのような景気動向の中、当社グループが主に係わる法人ICT<sup>(\*)1</sup>関連市場では、従来からのインターネット接続サービスの安定成長、IoT<sup>(\*)2</sup>に向けた法人モバイルサービス利用の高まり、セキュリティ関連サービスの継続的な需要増加、クラウドコンピューティング関連サービスの順次普及等に加え、テレワーク<sup>(\*)3</sup>実現のためのリモートアクセス<sup>(\*)4</sup>や仮想デスクトップサービス<sup>(\*)5</sup>等の需要が急増し、企業の安全・安心なICTサービスの利活用が進展しつつあります。

当第1四半期の事業状況は、このような市場環境の中、主としてネットワークサービスの牽引により、売上高総額は前年同期比1.1%増、そのうちWANサービスを除く法人ストック売上高<sup>(\*)6</sup>は前年同期比11.5%増となり、期初より順調に伸びました。ネットワークサービスにおける法人向けインターネット接続サービスでは、企業のインターネットトラフィック<sup>(\*)7</sup>の増加に伴いIPサービス<sup>(\*)8</sup>売上の伸び率が9.4%へと向上いたしました。法人向けモバイルサービスも、IoT関連案件の需要継続に加えテレワーク利用の追加等があり、前年同期比10.2%の増収となりました。アウトソーシングサービス売上は、従来からのセキュリティサービスの伸長に加えリモートアクセスに関連するVPNサービス<sup>(\*)9</sup>等が好調で、前年同期比8.5%の伸びとなりました。システムインテグレーションにおけるシステム構築売上は、主に昨年度受注済み案件の遂行により、ほぼ想定通りに推移いたしました。4月及び5月頃の企業往訪活動の停滞で当第1四半期の受注規模は低下しましたが、下半期の売上計上に向け引き続き案件獲得を進めております。システム運用保守売上も、クラウドコンピューティング関連サービスの継続伸長もあり、前年同期比13.5%増加いたしました。ATM運営事業においては、新型コロナウイルス感染症によるATM設置店休店等の影響により前年同期比で減収減益となりましたが、そのマイナス規模は期初想定より小さく6月には復調の兆しが見られました。

新規事業では、持分法適用関連会社㈱ディーカレットが、各事業会社とデジタル通貨に関する実証実験等を複数進めており、当期にて関西電力㈱との電力P2P取引<sup>(\*)10</sup>の決済及び大同生命保険㈱とのデジタル通貨発行との実証実験を開始いたしました。㈱ディーカレットに係る持分法投資損失は3.1億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績結果につきまして、売上収益は前年同期比1.1%増の50,379百万円(前年同期 49,829百万円)となりました。法人ストック売上は順調に増加したものの、主にWANサービスにおける前年度期中にあった大口特定顧客のモバイル移行による年度減収影響及びATM運営事業における新型コロナウイルス感染症影響による減収等があり、増収率は低水準でありました。売上原価は前年同期比0.4%減の42,266百万円(前年同期 42,447百万円)となり、売上総利益は前年同期比9.9%増の8,113百万円(前年同期 7,382百万円)となりました。内訳といたしましては、ネットワークサービスの売上高は前年同期比0.8%増の30,934百万円(前年同期 30,680百万円)、売上総利益は前年同期比19.4%増の5,990百万円(前年同期 5,019百万円)となりました。システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比4.2%増の18,875百万円(前年同期 18,109百万円)、売上総利益は前年同期比5.4%増の1,991百万円(前年同期 1,890百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は前年同期比45.2%減の570百万円(前年同期 1,040百万円)、売上総利益は前年同期比72.2%減の132百万円(前年同期 473百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比1.1%増の6,066百万円(前年同期 6,001百万円)となり、当第1四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比48.2%増の2,047百万円(前年同期 1,381百万円)となりました。税引前四半期利益は前年同期比23.8%増の1,694百万円(前年同期 1,369百万円)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比43.8%増の1,116百万円(前年同期 777百万円)となりました。

セグメント別では、当第1四半期連結累計期間のネットワークサービス及びシステムインテグレーション(SI)事業の売上収益は前年同期比2.0%増の49,858百万円(前年同期 48,862百万円)となり、営業利益は前年同期比99.2%増の1,991百万円(前年同期 999百万円)となりました。ATM運営事業の売上収益は前年同期比45.2%減の570百万円(前年同期 1,040百万円)となり、営業利益は89百万円(前年同期 419百万円)となりました。

### 用語集

- (\*)1 ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (\*)2 IoT: Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。
- (\*)3 テレワーク: 会社事務所以外の自宅や遠隔地からICTを利用し、業務に従事すること。
- (\*)4 リモートアクセス: インターネット回線等を通じて、企業の社内ネットワークやコンピュータに外部から接続すること。
- (\*)5 仮想デスクトップサービス: パソコンのデスクトップ環境とアプリケーションをクラウド上で仮想化環境として提供し、利用者が場所や端末に依存せずオフィス同様に仕事ができることを可能とするサービス。
- (\*)6 法人ストック売上高: 役務の継続提供により継続的な計上が期待できる売上(ストック売上)のうち、個人向け及びMVNEを除いた法人向け売上。
- (\*)7 インターネットトラフィック: インターネットを通じて転送されるデータ流量。
- (\*)8 IPサービス: 当社の提供する法人向け専用線型インターネット接続サービス。
- (\*)9 VPNサービス: Virtual Private Network (VPN、仮想プライベートネットワーク)機能等を提供するサービス。VPNとは、企業内ネットワークなど固有のネットワークを構築する際に、インターネットなどの開かれたネットワーク上に、暗号化技術などを用いて仮想的に固有のネットワークを構築する技術のこと。
- (\*)10 電力P2P取引: 電力供給者等と消費者がP2P取引プラットフォームを介し電力を直接取引すること。P2PはPeer-to-peerの略で、中央サーバを経由せず相互に直接通信する仕組み。

## ②経営成績の分析

当社グループの売上収益の大部分は「ネットワークサービス及びSI事業」からのものであり、役務別の分析により記載しております。

## ＜連結業績サマリー＞

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	49,829	50,379	1.1
ネットワークサービス売上高	30,680	30,934	0.8
システムインテグレーション売上高(注)1	18,109	18,875	4.2
ATM運営事業売上高	1,040	570	△45.2
売上原価合計	△42,447	△42,266	△0.4
ネットワークサービス売上原価	△25,661	△24,944	△2.8
システムインテグレーション売上原価(注)1	△16,219	△16,884	4.1
ATM運営事業売上原価	△567	△438	△22.7
売上総利益合計	7,382	8,113	9.9
ネットワークサービス売上総利益	5,019	5,990	19.4
システムインテグレーション売上総利益(注)1	1,890	1,991	5.4
ATM運営事業売上総利益	473	132	△72.2
販売管理費等(注)2	△6,001	△6,066	1.1
営業利益	1,381	2,047	48.2
税引前四半期利益	1,369	1,694	23.8
親会社の所有者に帰属する四半期利益	777	1,116	43.8

(注)1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

## ＜セグメント情報サマリー＞

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	49,829	50,379
ネットワークサービス及びSI事業	48,862	49,858
ATM運営事業	1,040	570
セグメント間取引消去	△73	△49
連結営業利益	1,381	2,047
ネットワークサービス及びSI事業	999	1,991
ATM運営事業	419	89
セグメント間取引消去	△37	△33

## i) 売上収益

当第1四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比1.1%増の50,379百万円(前年同期 49,829百万円)となりました。

## ＜ネットワークサービス売上高＞

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、通信需要の増加に伴うIPサービス及びモバイル関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比9.9%増の9,809百万円(前年同期 8,926百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う販売店の営業低調等による個人向けモバイルサービス売上高の減少等により、前年同期比0.7%減の6,454百万円(前年同期 6,500百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年度第3四半期までの大口特定顧客のモバイル移行による減収の年度影響等で、前年同期比16.8%減の6,175百万円(前年同期 7,424百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比8.5%増の8,496百万円(前年同期 7,830百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比0.8%増の30,934百万円(前年同期 30,680百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

## ＜ネットワークサービス売上高の内訳＞

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	30,680	30,934	0.8
法人向けインターネット接続サービス	8,926	9,809	9.9
IPサービス(含むインターネットデータセンター 接続サービス)	2,634	2,881	9.4
IIJモバイルサービス	5,484	6,047	10.2
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	4,069	4,374	7.5
その他	1,415	1,673	18.2
その他	808	881	9.1
個人向けインターネット接続サービス	6,500	6,454	△0.7
IIJmioモバイルサービス	5,855	5,796	△1.0
その他	645	658	2.0
WANサービス	7,424	6,175	△16.8
アウトソーシングサービス	7,830	8,496	8.5

## ＜インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域＞(注)1

	前第1四半期連結会計期間末 (2019年6月30日現在)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	1,792,638	2,135,482	342,844
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	736	778	42
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,251	1,246	△5
IIJモバイルサービス	1,709,359	2,046,836	337,477
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,072,190	1,124,017	51,827
その他	637,169	922,819	285,650
その他	81,292	86,622	5,330
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,407,024	1,402,062	△4,962
IIJmioモバイルサービス	1,073,763	1,063,165	△10,598
その他	333,261	338,897	5,636

	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域 (注)3	4,272.0	5,288.7	1,016.7

(注)1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。

2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。

3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

## ＜システムインテグレーション売上高＞

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4月及び5月頃の企業往訪活動の停滞等により、前年同期比9.6%減の6,550百万円(前年同期 7,249百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、プライベートクラウドサービスの売上高増加等があり、前年同期比13.5%増の12,325百万円(前年同期 10,860百万円)となりました。これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比4.2%増の18,875百万円(前年同期 18,109百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、売上高と同様に営業活動の停滞等により、前年同期比7.1%減の20,643百万円(前年同期 22,217百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比17.6%減の6,693百万円(前年同期 8,118百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比1.1%減の13,949百万円(前年同期 14,099百万円)でありました。

当第1四半期連結累計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比4.4%増の57,631百万円(前年同期末 55,222百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比12.2%減の7,650百万円(前年同期末 8,709百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比7.5%増の49,981百万円(前年同期末 46,514百万円)でありました。

## ＜ATM運営事業売上高＞

ATM運営事業売上高は、新型コロナウイルス感染症によるATM設置店休店等の影響により、前年同期比45.2%減の570百万円(前年同期 1,040百万円)となりました。

## ii) 売上原価

当第1四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比0.4%減の42,266百万円(前年同期 42,447百万円)となりました。

## ＜ネットワークサービス売上原価＞

ネットワークサービスの売上原価は、WANサービス売上高の減少等に伴う回線関連費用の減少等があり、前年同期比2.8%減の24,944百万円(前年同期 25,661百万円)となりました。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比19.4%増の5,990百万円(前年同期 5,019百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は19.4%(前年同期 16.4%)となりました。

<システムインテグレーション売上原価>

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、クラウド関連売上等の増加に伴うライセンス費用の増加等があり、前年同期比4.1%増の16,884百万円(前年同期 16,219百万円)となりました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比5.4%増の1,991百万円(前年同期 1,890百万円)となり、売上総利益率は10.5%(前年同期 10.4%)となりました。

<ATM運営事業売上原価>

ATM運営事業売上原価は、前年同期比22.7%減の438百万円(前年同期 567百万円)となりました。売上総利益は、132百万円(前年同期 473百万円)となり、売上総利益率は23.1%(前年同期 45.5%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、人件関連費用の増加等がありましたが、販売手数料、旅費交通費及び広告宣伝費の減少等あり、前年同期比0.1%増の6,049百万円(前年同期 6,042百万円)となりました。

その他の収益は48百万円(前年同期 113百万円)となりました。その他の費用は主として固定資産除却損により65百万円(前年同期 72百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第1四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比48.2%増の2,047百万円(前年同期 1,381百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第1四半期連結累計期間における金融収益は、受取配当金56百万円(前年同期 61百万円)等により、80百万円(前年同期 90百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息151百万円(前年同期 126百万円)等により、154百万円(前年同期 215百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、(株)ディーカレットに関する損失306百万円等があり、279百万円の損失(前年同期112百万円の利益)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第1四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比23.8%増の1,694百万円(前年同期 1,369百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第1四半期連結累計期間における法人所得税費用は、572百万円の費用(前年同期 543百万円の費用)となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比35.9%増の1,122百万円(前年同期 826百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、(株)トラストネットワークスに係る利益等により6百万円(前年同期 49百万円)となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比43.8%増の1,116百万円(前年同期 777百万円)となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び株主資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,175百万円減少し、205,349百万円(前連結会計年度末206,524百万円)となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比1,423百万円減少し、85,167百万円(前連結会計年度末86,590百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、現金及び現金同等物221百万円増加の38,893百万円、営業債権4,086百万円減少の28,499百万円、前払費用3,017百万円増加の12,714百万円でありました。

当第1四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比248百万円増加の120,182百万円(前連結会計年度末119,934百万円)となりました。使用権資産は主として減価償却による1,954百万円の減少で48,607百万円となりました。持分法で会計処理されている投資は㈱ディーカレットへの出資等により2,352百万円増加の7,179百万円となりました。その他投資は保有上場株式の時価変動等にて1,424百万円増加し10,611百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比1,309百万円増加の66,995百万円(前連結会計年度末65,687百万円)となりました。主な増減及び残高の内訳は、営業債務及びその他の債務2,226百万円減少の16,061百万円、借入金3,170百万円の増加(うち1年内返済予定の長期借入金の返済915百万円及び非流動負債からの振替4,085百万円)の18,750百万円、未払法人所得税1,482百万円減少の801百万円、契約負債は取引に係る前受収益の増加等により2,385百万円増加の8,283百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比4,095百万円減少の56,685百万円(前連結会計年度末60,780百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、借入金は4,085百万円の流動負債への振替にて8,085百万円、その他の金融負債はリース支払等にて1,313百万円減少の34,993百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比1,661百万円増加の80,737百万円(前連結会計年度末79,076百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は39.3%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、38,893百万円(前年同期末32,893百万円)となりました。

#### < 営業活動によるキャッシュ・フロー >

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,694百万円、減価償却費及び償却費7,095百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費3,009百万円)に対して、売上関連の収入として営業債権の減少及び契約負債(前受収益)の増加が前年同期比で収入増となったのに加え、前年度期首において一時的要因で増加していた営業債務の支払が前年同期比での支出減となり、営業資産及び負債の増減にて4,576百万円の収入(前年同期2,057百万円の支出)となり、また、法人所得税の支払い2,177百万円等もあり、11,635百万円の収入(前年同期5,250百万円の収入)となりました。

#### < 投資活動によるキャッシュ・フロー >

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による1,407百万円の支出(前年同期2,947百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による1,805百万円の支出(前年同期1,650百万円の支出)、主としてセールアンドリースバック取引で有形固定資産の売却による収入1,017百万円(前年同期348百万円の収入)、持分法適用関連会社への出資2,754百万円等があり、4,592百万円の支出(前年同期2,141百万円の支出)となりました。

#### < 財務活動によるキャッシュ・フロー >

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済915百万円、その他の金融負債の支払5,223百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る支払2,980百万円)、配当金の支払い609百万円等があり、6,802百万円の支出(前年同期2,097百万円の支出)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高及び利益の規模は、季節要因にて例年第1四半期において小さくなり第4四半期において大きくなる傾向があります。当第1四半期の業績は、特に利益面において想定を上回り好調に推移したと認識しておりますが、新型コロナウイルス感染症による業績影響の度合いの増減は引き続き見通し難しく、本日現在にて2020年5月14日に公表した2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日現在)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	38,671,734	38,892,573
営業債権	32,585,326	28,498,975
棚卸資産	2,476,477	2,131,647
前払費用	9,696,856	12,714,203
契約資産	438,675	753,257
その他の金融資産	2,629,332	1,952,189
その他の流動資産	92,027	224,271
流動資産合計	86,590,427	85,167,115
非流動資産		
有形固定資産	17,399,863	16,638,613
使用権資産	50,560,361	48,606,798
のれん	6,082,472	6,082,472
無形資産	18,280,247	18,046,983
持分法で会計処理されている投資	4,827,287	7,179,466
前払費用	7,777,997	7,886,858
契約資産	60,362	50,826
その他の投資	9,186,646	10,610,953
繰延税金資産	742,857	273,211
その他の金融資産	4,645,959	4,421,100
その他の非流動資産	369,782	384,485
非流動資産合計	119,933,833	120,181,765
資産合計	206,524,260	205,348,880

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日現在)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,287,546	16,061,078
借入金	15,580,000	18,750,000
未払法人所得税	2,283,707	801,375
契約負債	5,897,674	8,283,167
繰延収益	88,901	87,851
その他の金融負債	17,845,194	17,751,236
その他の流動負債	5,703,623	5,260,603
流動負債合計	65,686,645	66,995,310
非流動負債		
借入金	12,170,000	8,085,000
退職給付に係る負債	3,984,880	4,058,968
引当金	753,518	754,239
契約負債	5,991,807	7,238,689
繰延収益	479,097	459,396
繰延税金負債	136,536	150,249
その他の金融負債	36,305,781	34,992,524
その他の非流動負債	958,879	946,246
非流動負債合計	60,780,498	56,685,311
負債合計	126,467,143	123,680,621
資本		
資本金	25,530,621	25,530,621
資本剰余金	36,271,395	36,285,845
利益剰余金	16,500,993	17,260,526
その他の資本の構成要素	2,669,501	3,556,766
自己株式	△1,896,921	△1,896,921
親会社の所有者に帰属する持分合計	79,075,589	80,736,837
非支配持分	981,528	931,422
資本合計	80,057,117	81,668,259
負債及び資本合計	206,524,260	205,348,880

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	30,679,585	30,933,934
システムインテグレーション売上高	18,109,204	18,874,960
ATM運営事業売上高	1,040,055	569,611
売上収益合計	49,828,844	50,378,505
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△25,660,982	△24,943,344
システムインテグレーション売上原価	△16,219,380	△16,883,807
ATM運営事業売上原価	△566,918	△438,297
売上原価合計	△42,447,280	△42,265,448
売上総利益	7,381,564	8,113,057
販売費及び一般管理費	△6,041,692	△6,048,848
その他の収益	112,659	48,167
その他の費用	△71,572	△65,147
営業利益	1,380,959	2,047,229
金融収益	90,126	79,776
金融費用	△214,613	△153,867
持分法による投資損益	112,207	△278,907
税引前四半期利益	1,368,679	1,694,231
法人所得税費用	△542,925	△572,192
四半期利益	825,754	1,122,039
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	776,513	1,116,313
非支配持分	49,241	5,726
四半期利益	825,754	1,122,039
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	17.23	24.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	17.15	24.64

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
	千円	千円
四半期利益	825,754	1,122,039
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定するものとして指定した資本 性金融商品の公正価値の純変動額	652,157	1,195,836
純損益に振り替えられることのない 項目合計	652,157	1,195,836
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△97,542	△25,465
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	685	137
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	3,962	△31,394
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△92,895	△56,722
その他の包括利益合計(税引後)	559,262	1,139,114
四半期包括利益	1,385,016	2,261,153
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,335,775	2,255,427
非支配持分	49,241	5,726
四半期包括利益	1,385,016	2,261,153

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2019年4月1日 時点の残高	25,518,712	36,225,775	12,335,035	4,088,704	△1,896,788	76,271,438	848,172	77,119,610
IFRS第16号適用に よる累積的影響額 -税効果後	—	—	△33,728	—	—	△33,728	—	△33,728
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	776,513	—	—	776,513	49,241	825,754
その他の 包括利益	—	—	—	559,262	—	559,262	—	559,262
四半期包括利益 合計	—	—	776,513	559,262	—	1,335,775	49,241	1,385,016
所有者との取引額								
配当金	—	—	△608,452	—	—	△608,452	△53,405	△661,857
株式報酬取引	—	14,165	—	—	—	14,165	—	14,165
その他の資本の 構成要素から利 益剰余金への振 替	—	—	1,605,421	△1,605,421	—	—	—	—
所有者との 取引額合計	—	14,165	996,969	△1,605,421	—	△594,287	△53,405	△647,692
2019年6月30日 時点の残高	25,518,712	36,239,940	14,074,789	3,042,545	△1,896,788	76,979,198	844,008	77,823,206

(注) IFRS第16号「リース」の適用に基づく影響を表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日 時点の残高	25,530,621	36,271,395	16,500,993	2,669,501	△1,896,921	79,075,589	981,528	80,057,117
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	1,116,313	—	—	1,116,313	5,726	1,122,039
その他の 包括利益	—	—	—	1,139,114	—	1,139,114	—	1,139,114
四半期包括利益 合計	—	—	1,116,313	1,139,114	—	2,255,427	5,726	2,261,153
所有者との取引額								
配当金	—	—	△608,629	—	—	△608,629	△55,832	△664,461
株式報酬取引	—	14,450	—	—	—	14,450	—	14,450
その他の資本の 構成要素から利 益剰余金への振 替	—	—	251,849	△251,849	—	—	—	—
所有者との 取引額合計	—	14,450	△356,780	△251,849	—	△594,179	△55,832	△650,011
2020年6月30日 時点の残高	25,530,621	36,285,845	17,260,526	3,556,766	△1,896,921	80,736,837	931,422	81,668,259



## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,368,679	1,694,231
調整		
減価償却費及び償却費	7,163,708	7,095,188
固定資産除売却損益(△は益)	63,854	48,047
持分法による投資損益(△は益)	△112,207	278,907
金融収益	△75,430	△69,788
金融費用	216,748	162,138
その他	△43,228	19,621
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額(△は増加)	3,118,954	4,090,221
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,561,660	345,075
前払費用の増減額(△は増加)	△3,680,025	△3,124,377
契約資産の増減額(△は増加)	△1,022,054	△305,046
その他の資産の増減額(△は増加)	△29,414	△132,247
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△299,831	880,031
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,293,040	△1,288,730
契約負債の増減額(△は減少)	817,703	3,646,014
繰延収益の増減額(△は減少)	△46,761	△20,751
その他の負債の増減額(△は減少)	△78,047	△455,904
その他の金融負債の増減額(△は減少)	849,928	867,424
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43,756	74,088
小計	6,524,953	13,804,142
利息及び配当金の受取額	154,876	153,699
利息の支払額	△126,602	△145,288
法人所得税の支払額	△1,303,564	△2,177,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,249,663	11,635,067

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
	千円	千円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,947,407	△1,407,413
有形固定資産の売却による収入	348,306	1,016,997
無形資産の取得による支出	△1,650,369	△1,804,916
無形資産の売却による収入	6,831	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△460,000	△2,754,000
その他の投資の取得による支出	△8,740	△22,500
その他の投資の売却による収入	2,649,631	392,353
敷金及び保証金の差入による支出	△70,882	△2,410
敷金及び保証金の回収による収入	5,309	3,492
積立保険料の支払	△14,085	△14,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,141,406	△4,592,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△750,000	△915,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000,000	—
その他の金融負債による収入	1,473,000	—
その他の金融負債の支払	△5,158,023	△5,222,579
配当金の支払額	△608,452	△608,629
その他	△53,405	△55,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,096,880	△6,802,040
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△76,509	△19,706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	934,868	220,839
現金及び現金同等物の期首残高	31,957,789	38,671,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,892,657	38,892,573

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	48,788,789	1,040,055	—	49,828,844
セグメント間の売上収益	73,516	—	△73,516	—
売上収益合計	48,862,305	1,040,055	△73,516	49,828,844
セグメント営業利益	999,397	418,723	△37,161	1,380,959
金融収益				90,126
金融費用				△214,613
持分法による投資損益				112,207
税引前四半期利益				1,368,679

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	49,808,894	569,611	—	50,378,505
セグメント間の売上収益	48,949	—	△48,949	—
売上収益合計	49,857,843	569,611	△48,949	50,378,505
セグメント営業利益	1,990,537	88,603	△31,911	2,047,229
金融収益				79,776
金融費用				△153,867
持分法による投資損益				△278,907
税引前四半期利益				1,694,231

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません